

猿楽台地の蕎麦畑

猿楽台地は、1960 年代に国の農業開発プロジェクトによって開発された農地で構成されています。蕎麦と呼ばれる細い麺の主成分である蕎麦の実を育てる 40 ヘクタールの畑があります。8 月下旬から 9 月上旬にかけて、畑は繊細な白い蕎麦の花の絨毯で覆われます。

米は長い間日本の主食でしたが、夏が涼しかった福島県などの一部の北部地域では、しばしば栽培が困難でした。そこで人々は寒さに強い代替穀物として蕎麦を生産してきました。下郷町には、最高品質のそばを作るために欠かせない新鮮できれいな水が豊富にあります。また、周辺の多くのレストランでは地元のそば料理を提供しています。

花が咲き乱れる夏の終わりが畑を見るのに最も人気のある時期ですが、猿楽の静かな牧歌的な風景は、一年中いつでも魅力的な写真撮影の機会を提供します。10 月に蕎麦が収穫されると、畑に残っている茎が鮮やかな赤色に変わります。

注：道端からの眺めはどなたでもご利用いただけますが、そば畑は私有地であるため、立ち入り禁止です。サルやクマなどの地元の野生生物から畑を守る電気柵に注意してください